

令和8年度用

改訂新版

社会の新研究

熊本県 高校入試情報

令和7年度熊本県入試の全体傾向

●大問構成、問題数について

○大問は昨年と同じ地2・歴2・公2の計6問。

○小問は44問（昨年は43問）。半数近くが完全解答形式で、問題数はかなり多い。

○文章記述問題は7問（昨年は9問）。

●出題傾向について

○地理分野では、例年通り地形図の読み取り問題が出題された。また統計データからある州、都市、県にあてはまるものを特定するなど、資料を読み取る問題がある。

○歴史分野では、古代～現代まで幅広く出題され、並べ替え問題も出題された。

○文章記述問題では、資料を読み取り、考察を記述する問題がみられる。

★熊本県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

■活用問題の出題

・例年、資料から読み取れること・考えられることを記述させる問題が出題されているため、資料の読み取り対策と記述対策の両方が必要。

➡

新研究で対策！

●「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」（p. 194～197）では、複数の資料を読み取る問題や、自分の意見を記述する問題など、最新入試問題からピックアップした、今後も出題されそうな新しいパターンの問題を掲載しています。入試対策の仕上げとして取り組むことができます。

■地形図を読みとる問題の出題

・例年、地形図の読み取り問題が出題されているため、さまざまなパターンの問題で練習しておくことが必要。

➡

新研究で対策！

●「フォロー特集 わかる！地形図の読み取り方」（p. 44）では、地形図の読み取り方の基本を穴埋めをしながら理解できます。さらに、「7 地域調査の手法」（p. 36～39）では、新旧地形図の比較や地形図と景観写真についても図解。ていねいな解説で、地形図の読みとり方がきちんと理解できます。

★新研究で出題した熊本県の入試問題(令和7年度)

◆p.11 大問2 ◆p.11 大問2 ◆p.51 大問3 ◆p.129 大問2 ◆p.141 大問1

◆p.183 大問1

熊本県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！



★熊本県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●		●	●
		日本の姿	●	●	●	●
		世界各地の人々の生活と環境	●		●	●
		アジア州	●	●	●	
		ヨーロッパ州, アフリカ州	●	●	●	●
		北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州	●	●	●	●
		地域調査の手法	●	●	●	●
		日本の自然, 人口	●	●	●	●
		日本の資源・産業, 世界との結びつき	●	●	●	●
		九州地方, 中国・四国地方		●	●	●
		近畿地方, 中部地方	●	●		
		関東地方, 東北地方, 北海道地方		●	●	●
	歴史的分野	文明のおこりと日本		●	●	
		古代国家の歩み	●	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一			●	●
		近世社会の発展	●	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国	●	●	●	●
		近代日本の歩み	●	●	●	●
		二度の世界大戦と日本	●	●	●	●
		現代の日本と世界	●	●	●	●
	公民的分野	現代社会と私たちの生活	●		●	●
		個人の尊重と日本国憲法	●	●	●	●
		現代の民主政治, 国会	●	●	●	
		内閣・裁判所, 三権分立	●	●	●	●
		地方自治				●
		消費生活と流通・生産, 市場経済と金融	●	●	●	●
		財政, 国民生活と福祉	●		●	
		地球社会と私たち		●	●	
	分野統合					
出題形式別の傾向	大問数	6	6	6	6	
	小問数	41	45	43	44	
	記号解答	14	16	18	25	
	用語記述	19	18	16	12	
	文章記述	8	10	9	7	
	作業・作図		1			